

令和5年度福島県ワーク・ライフ・バランス大賞について

(敬称略)

ワーク・ライフ・バランス大賞

総合的に最も取組が進んでいる企業

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社福島支社 (卸売・小売業 郡山市)

男性育児休業の積極的な取得、保育施設の利用補助やベビーシッター利用補助、育児休業中や介護休業中の経済的援助など、育児・介護がしやすい環境を整えるとともに、社内の web サイトにより男性育児休業取得者の事例など多様な働き方を紹介するなどして制度の活用を働きかけている。また、従業員一人一人による私の健康宣言の実施などの健康経営の取組や、若手社員のコミュニケーションの場の設置、全従業員を対象としたコンテストの実施など活気あふれた職場づくりを進めており、これらの取組が総合的に評価された。

ワーク・ライフ・バランス先進的取組大賞

総合的に取組が進んでおり、先進的かつ特徴的な取組を行っている企業

株式会社野地組（建設業 二本松市）

時間外労働の抑制に努め、年次有給休暇の取得を年々増加させるなど退社しやすく、休みを取りやすい職場づくりを進めている。また、若手社員及び新入社員の親睦会・意見交換会を月1回実施しており、その実施にあたっては昼の休憩中ではなく、就業時間中の午前11時に実施するなど、社員が負担と感じないよう配慮しているほか、社員の健康面に着目し、非喫煙者、非メタボリック者に対する健康増進手当を支給するなどの取組を行っており、これらのユニークで特徴的な取組が評価された。

ワーク・ライフ・バランス男女共同参画大賞

総合的に取組が進んでおり、男女が共に仕事と家庭の両立が図られるよう取り組んでいる企業

株式会社キスキ（建設業 福島市）

従業員が少ない中で、男性の育児休業取得の取得率が100%であり、不妊治療休暇制度の導入とその活用実績、介護休業の活用実績があるなど、仕事と育児・介護・治療などの両立がしやすい環境を整えている。また、社内に女性のための相談窓口をつくり、要望に対してはその都度全員で改善案を話し合い対応しており、これらの男女が共に働きやすい職場環境づくりの取組が評価された。